

はしがき

本書は『一目でわかる 中国進出企業地図』（2010年5月初版）を全面的に改訂した新版である。この2年余の日本企業の中国進出は量的にも質的にも大転換をとげたため、内容的には旧版の残影をとどめていない。

本書の構成は、次の2部から成る。

第1部 日本企業の中国進出状況

ここでは、まずマクロの観点から最新の動態を俯瞰した。次いで対中ビジネスを主導している総合商社、自動車、電機、小売の業態を分析した。最後に、中国市場における個別商品のブランド力を比較検討した。

第2部 中国関連株50社の進出企業地図

ここでは中国関連株50社各社の進出地図を作製して、その最新の動態を一目瞭然とした。「中国関連株50社」は21世紀総研が独自に選択したもので、「日経中国関連株50」構成銘柄とは若干の異動があることをお断りしておきたい。

新版の編者名は、旧版の稲垣清から21世紀中国総研に変更した。これは、第1部を書いている段階で、稲垣清に継続執筆困難な事情が発生し、21世紀総研事務局が構想を新たにして執筆を引き継いだためである。言い換えると、本書の最終的な文責は21世紀事務局が負っているが、実質的に稲垣清と21世紀中国総研事務局との共同執筆である。21世紀中国総研事務局が執筆したのは、第1部の半分程度と第2部のすべてである。

21世紀中国総研事務局は、本書に先立ち、以下の書籍を編集している。

中国進出企業一覧 上場会社篇 [2011～2012年版]（日本の上場企業の在拠点数7182、うち現地法人6515社を収録している）

北京日系企業総覧 [2012年版]（上場・非上場を問わず日本の在北京の現地法人860社、代表処310社を集めている）

本書とともにご利用いただければ幸いである。

本書のデータは、主に中国に進出している日本企業各社および現地法人がリリースしている各種資料に依拠している。いちいち出所は記していないが、中国進出情報をリリースされ、取材にご協力いただいた各企業の担当部署、関係諸氏に厚く御礼申し上げたい。仮に本書の記述に間違いがあれば、われわれの責任であり、忌憚の無い叱正をお待ちしたい。

最後に、本書の編集に参加した21世紀中国総研事務局のスタッフを紹介しておきたい。『中国進出企業一覧』データベース「PANDA」を駆使して各種資料を探索し、それらを利用可能な状態に整理して地図・図表にする作業に携わってくれたのは、柯慶輝、金慧瑛夫妻である。柯さんは厦門城市職業学院講師、金さんは朝鮮族の日本滞在歴11年の学究で、二人は参照が困難と思われていた重要データを多数蓄積してくれた。ほかに本書の編集に参加したのは、田中典子、石灰えり子、阿部眞紀子、廖淑真、中村知子の諸氏である。

21世紀中国総研事務局長 中村公省